

小児感染症の第28週(平成24年7月9日から平成24年7月15日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】

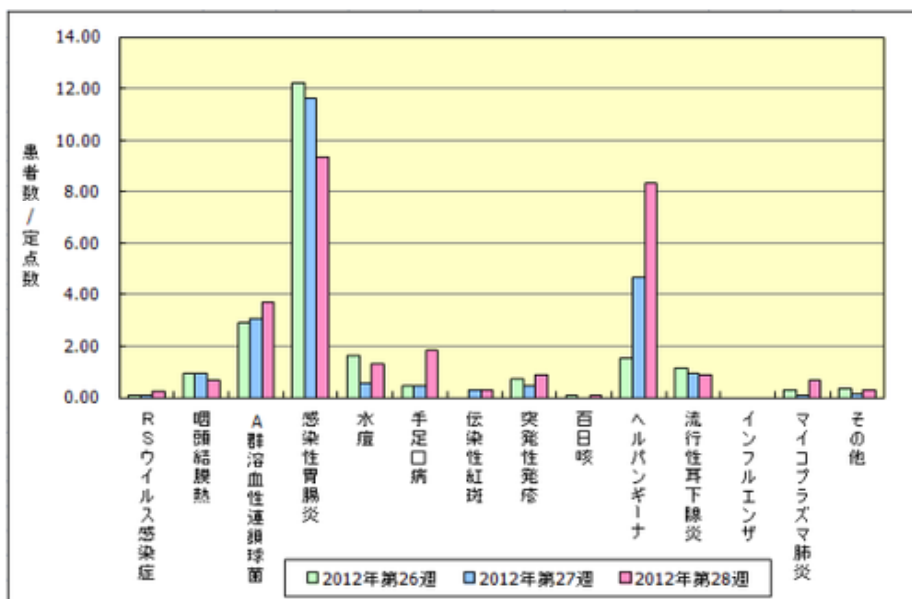
○ヘルパンギーナが定点あたり8.4となり、警報レベルとなっています。

手洗い・咳エチケット等心がけてください。

○都内において、風しんの患者数が急増しています。流行の中心は、予防接種歴がない又は確認できない30代の男性で、10代、20代の報告も増加しています。

飛沫により感染することから、外出後は手洗いや、うがいをしっかり行いましょう。

風しん予防のためには、予防接種を行うことが重要です。



第28週疾患毎発生状況グラフ

	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	中央北 部	西部	東南部	みなみ 野
	第23週	第24週	第25週	第26週	第27週	第28週				
RSウイルス感染症	4→	6↑	6→	1↓	1→	3↑	3	0	0	0
咽頭結膜熱	14↓	36↑	24↓	13↓	13→	9↓	1	3	5	0
A群溶血性連鎖球菌	62↓	87↑	64↓	41↓	43↑	52↑	12	15	15	10
感染性胃腸炎	238↑	165↓	150↓	171↑	163↓	131↓	62	18	37	14
水痘	21↑	19↓	25↑	23↓	8↓	18↑	4	4	3	7
手足口病	4→	7↑	12↑	6↓	6→	26↑	3	5	13	5
伝染性紅斑	1↓	2↑	0↓	0→	4↑	4→	2	0	1	1
突発性発疹	5↓	12↑	8↓	10↑	6↓	12↑	3	1	3	5
百日咳	0↓	0→	1↑	1→	0↓	1↑	0	1	0	0
ヘルパンギーナ	0→	1↑	5↑	21↑	65↑	117↑	20	32	41	24
流行性耳下腺炎	11→	9↓	26↑	16↓	13↓	12↓	6	4	1	1
インフルエンザ	2↓	0↓	0→	0→	0→	0→	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	3→	4↑	3↓	4↑	1↓	9↑	1	0	6	2
その他	6↓	7↑	22↑	6↓	3↓	7↑	4	1	2	0

第28週疾患毎発生状況表

第28週	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	インフルエ ンザ	マイコプラ ズマ肺炎	その他
～5ヶ月	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
～11ヶ月	1	3	0	11	1	0	0	4	0	10	0	0	0	2
1歳	1	1	3	14	2	11	1	6	0	26	0	0	0	0
2歳	0	1	1	11	2	6	1	1	0	25	0	0	0	1
3歳	0	1	4	23	3	4	1	0	0	21	2	0	0	0
4歳	0	1	7	13	2	0	1	0	0	16	4	0	0	0
5歳	0	2	18	14	2	2	0	0	0	11	1	0	0	1
6歳	0	0	8	8	3	2	0	0	0	1	3	0	0	0
7歳	0	0	6	10	1	0	0	0	0	2	1	0	2	0
8歳	0	0	1	8	2	0	0	0	0	1	1	0	1	0
9歳	0	0	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0
10～14歳	0	0	3	10	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0
10～12歳												0		
13～14歳												0		
15～19歳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	0	5	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	3	9	52	131	18	26	4	12	1	117	12	0	9	4

第28週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- みなみ野
由井事務所